

【めむろ未来ミーティング】

種類：テーマ別（新嵐山改革）

令和2年6月27日（土）

19:00～20:10

めむろーど2階セミナーホール

■参加者 10人

■芽室町 町長、商工観光課長、商工観光課長補佐（新嵐山改革担当）

■記録 玉堀、今森

■ただちに対応・検討が必要な事項は、ありません。
いただいたご意見を今後の新嵐山改革に生かしてまいります。

- 1 開会
- 2 町長あいさつ
- 3 町からの説明事項
『新嵐山活用計画 Rural inn ザ・スカイパーク』
- 4 意見交換

【意見】

今、運動広場の東側の土地でワイナリーの工事をやっている。この辺り一帯の土地を民間に貸し付けるとのことだが、ワイナリーを使ってイベントを開催するなど集客する環境を作るということなのか。何か工事が始まったと思ったらテニスコートを壊してワイナリー工事が始まった。整備をしても人が集まらないと話にならないと思うが、その辺りの説明をお願いしたい。

【町長】

挨拶でも申し上げたとおり、活用計画というのがベースにあって、ワイナリーは色々な構想のうちのひ

とつ。ワイナリーは集客につながる施設になるのであればお貸して有効活用いただきたいという考え方で貸し出しを行っている。

運動広場の東側はあまり使われていないという実態があり、町としては民間にすぐ貸すという考え方があったわけではなく、何か土地を活用できる方法はないか市場調査ということで民間の方にアイデアを出していただいた。その中にワイナリーがあった。構想の中で「6次産業化」といって地元産の色々な農産物を加工して販売するような考え方方が良いのではないかと考えているなかでワインの話があり、1年単位で土地の使用許可を出す流れを取った。条件としては現状復旧という形で、経営状態が悪いということになれば取り壊しなども全て民間側でやっていただき元に戻すという契約になっている。町としては一切お金を払わず土地を貸し出す仕組みである。

今後、大きな建物を次々に作ることではなく、これからは自然を活かした中で改修を行っていく。今後も民間を活用しないというわけではなく、貸し出しを行うとすれば、今のところは運動広場東側になると思われる。スキーフィールドの真ん中を貸し出すなどは今のところ全く考えていない。

【意見】

ワイナリー自体、集客するというスタンスをとっていないのではないか。工場があって、見学するということはあるかもしれないが、工場内にイスやテーブルを置いて何か食べて休憩するスペースがある感じではないと聞いている。ただの製造施設のように感じる。

【町長】

工場内にレストランがあるかというと、そういうものはない。できたものを新嵐山で出していただくとか、ふるさと納税の一品にさせていただくといった活用を考えている。そういう意味では魅力あるものとなっていくと考えている。

直接的に工場見学を目当てに来られる方がどれほどいるかは分からないが、見学は可能で、環境整備もされていくと思うので、自然にあった形の建物と

なっている。

【意見】

出来上がったあと、活用方法について何か提案できることがあれば、提案したい。

【町長】

ありがとうございます、工場ができてそれで終わりということではなく、それで人が来られるように工夫をすべきだと思っている。これからもご意見をいただきたい。

【意見】

民間活力の活用とのことだが、色々な提案がある中で特にワイナリーではイベントなどの予定が既にあるのか、それとも今後協議の中で考えていく予定なのかお聞きしたい。

【町長】

ワイナリーの方でワインを製造するところまでしか今のところ詳しくは決まっていない。今後新嵐山で活用というところまでは構想がある。イベントは今のところ予定はない。

ただ、せっかくのご提案もあったので町とコラボレーションできるのであれば検討はしたいと思っている。

【意見】

今後、ワイナリーからも色々な提案があると思う。例えば池田町さんはワイン祭りをやっているが、新嵐山でそういったイベントも可能となるかもしれない。町内外から色々な人たちが新嵐山に来ていたらきっかけになると思う。

町民としては、いいものであれば協力したいと思う。

【意見】

スカイパークは小さいころから、今も子ども含めて楽しませてもらっている。これから数年後に、このように素晴らしい計画をしているということだが、

現時点での欠点を改善していかないと将来につながっていかないのではないかと考えている。

ここでは言い切れないほどマイナスの面がある。今抱えている問題点を正した上で新しい活用計画だと思う。現状を正していかないと、将来的に新しいものができたとしても一時のブームで終わってしまうようを感じられる。

【町長】

先日の新嵐山会場の未来ミーティングで同じような説明をさせていただいた中で、例えば周辺の環境整備、もう少しキレイにしてはどうだろうだとか、食事を抜本的に見直してはどうかという意見はいただいている。

これまで町民の憩いの場としてきたが、今後はターゲットを広げて魅力ある場にしなくてはならない。そのためには改革しなくてはならないことは沢山ある。新支配人もその辺りはしっかり検討させていただいている、ある意味客観的な目で見てこういう面が足りない、他と比べて劣っているというところをピックアップもしていただいて、今のスタッフとともにかなりのディスカッションをしていただいている。

具体的な取り組みについてはもう少ししてから公表することになると思うが、いずれにしても魅力ある場づくり魅力ある施設になるための方策というのは真剣に今考えているところなので、期待をしていただきたい。

また、今のようなご意見を随時いただいた上で直すところは直していかないとファミリーが一日過ごせるような場所にはなかなかならないと思っている。今後ともいろいろな意見を賜りたいと思う。

【意見】

スカイフィールドアクションで気になった点がある。リフトの活用について今回は提示されていたが、それに伴って、今までに使っていた登山道、こちらの整備についてはどのようにお考えかお聞きしたい。

リフトで行くのは良いが、運用しているときでないと頂上に行けなくなるのではという危惧もある。朝方など、運用時間を外れた時間帯も魅力的な景観が

出せる場所だと思う。そういう意味で道路は今後も整備が必要だと思う。

そういったところの可能性についてお聞きしたい。

【町長】

頂上からの景観はすごい資源だと思っている。ご指摘のあった登山道は林道という形になっている。ここは農林サイドの管轄ということになっており、拡幅は現実的に難しいと思う。ただ、傷んでいる場所の修復といったことはできると考えている。

ルートについては頂上まで徒歩で行けるルートもあり、これに夏場のリフト運行が加わると、様々な林道の行き来があります。他にも交通手段として電動アシスト自転車も考えられますが、車とすれば違うときに危険などがあります。整備と利用の方法はしっかり整理して、色々な登り方、住み分けが必要だと考えています。

おっしゃるとおり、林道の整備は必要だと思っていますが、財源もかかることなのでお時間いただきたい。

【意見】

ここ2年暖冬が続いている。札幌や十勝管内でも営業できないスキー場があるなか、芽室スキー場は人工降雪機がある。

そういった面では芽室スキー場は帯広に近いということもあり、仕事終わりにナイターができるなど魅力があると思う。ただ、スキーをする人にとっては魅力があるが、それ以外の人はスキーはお金がかかるとか、体験ができなくて残念という気持ちがある。

そういった部分では気軽にできる、足で斜面を登ってスキーができる、そういった斜面を作るなどの取り組みをしていただければありがたい。

【町長】

今年は天然雪が殆どなく、人工雪で大部分を作ったといって過言ではない状況のゲレンデだった。そういう面でも新嵐山の職員には感謝をしている。

ご提案のあった色々な方が楽しめる部分は必要だと思っている。歩いて登って滑るというのも楽しい

と思う。新支配人の提案には冬のキャンプもいいのではないかと提案がある。ファットバイクで上から降りてくるとか、キッズが楽しめる仕掛け、スキーやスノーボードだけではない魅力づくりも併せて行っていきたい。

今のところは夏のお客さんを戻そうという取り組みが多いが、年中、冬も楽しめるようなところにできればと思う。半日、一日過せるような場所を目指して頑張っていきたい。

【意見】

宿泊場からスキー場に直行できるところというのは、キロロリゾートなど大きなリゾートばかり。

新嵐山荘のようにそのままゲレンデに直行できるのは芽室の魅力なので、ぜひそれを活かした取り組みをお願いしたい。

【町長】

ご意見感謝します。リフトの架け替えも課題となっており、色々な方面で整理が必要と思っている。



20:10 終了